

三笠ジオパークにおける小中一貫教育の支援活動 Activity support for the educational continuity from primary through early secondary levels in the Mikasa Geopark

栗原 憲一^{1*}; 新居 忠浩²
KURIHARA, Ken'ichi^{1*}; NII, Tadahiro²

¹ 三笠市立博物館, ² 三笠市企画経済部企画振興課政策推係
¹Mikasa City Museum, ²Promotion Policy Division, Mikasa City Office

三笠ジオパークのエリアである三笠市では、平成 17 年度より小中一貫教育を実施している。この取り組みの中には、地域の歴史、自然、産業等について学ぶ「地域科」と呼ばれる科目がある。この科目は、地域の素材と人材を活用し、地域全体で子ども達を育て、郷土愛の醸成を図ることを目的としている。

一方、同ジオパーク内には、三笠市立博物館と呼ばれる総合博物館が昭和 54 年から設置されており、これまで地域の歴史、自然史、産業史資料の研究・保存活動を行っている。

そのため、小中一貫教育の始まった初年度より「地域科」の授業の一部を博物館学芸員が担当し、現場の教員と議論を重ねながら、授業を実践してきた経緯がある。さらに、昨年からは、地域科とジオパーク活動との連携について、市内小中学校の教員と議論を重ねており、まだ試行錯誤の段階ではあるがジオパークと連携した授業を行い、小中学生用のジオパークガイドブックも作成した。

そこで、これまでの地域科で実施された博物館活動との連携および近年のジオパーク活動との連携について紹介し、地域教育とジオパーク活動との相乗効果について模索したい。

キーワード: 小中一貫教育, 地域科, 博物館活動, ジオパーク活動, 三笠ジオパーク
Keywords: educational continuity, regional study, museum activity, geopark activity, Mikasa Geopark